



新庁舎いよいよ着工

役場新庁舎（寺戸小字中野）の設計が完了
11月22日に工事入札を行ない業者（安井土工
務店）を決め、12月3日に起工式を行なう。
新庁舎は、鉄筋コンクリート造り地下1階

地上3階で延べ2,717平方メートル、建設費
1億4千5百万円です。完成は来年末になる
予定。
—写真—新庁舎の模型

発行所
向日町役場

京都府乙訓郡向日町
大字向日小字南山3
電話京都(921)3111
編集・向日町役場総務課

＝火の用心＝

火災シーズンを控えて
お宅の火の元の点検を

秋の火災予防運動が十一月十
六日から十二月一日までの一週間
全国一っせいに展開されています。
屋外、寒くなるにつれて、火災
がぐんと増えます。火災の原因に
なる火が家中いたるところにある
と考え、ストーブ、アンカ、電
気毛布、こたつなど、その取扱
いには細心の注意が必要です。
同時に、ガスを換気扇に使う場合
は、不用なときは、元栓を切る
習慣を必ずつけたいものです。火
災はかりでなく、ガス中毒という
恐ろしい事故が起きます。
火の元には、いくら気をつけて
いても、つかい過ぎることばかり
ません。家族の皆さんが一致して
自分のところからは絶対に火を出
さないように気をつけましょう。
今回の予防運動では、特に二般

家庭に対して、次の三点を呼びか
けている。

▽バケツ一杯の水のくみ置
き

初期消火の失敗が火災を大きく
する。火災は初期のうちにはほ
わずかな水で消すことが出来る
から、少なくともバケツ一杯の
水を常時準備しておくか、風呂
のある家庭では、入浴後のま
ま水をため置き、いつでも有事
の際に使用できるようにしてお
くこと。

▽たばこの投げ捨てと寝た
ばこの防止

火災原因中、たばこはトップの
座を昭和二十九年以後崩るがな
い。たばこの消費量も年々増加
する傾向にあるので、たばこが
原因する火災も増加していくも
のと考えられる。たばこの不始
末による火災をなくするには、各
人がそれだけ注意する以外に手
はないのですが、灰皿に水をい
れておくことなどが有効です。

▽地震時の火の始末

地震は近年各地に発生し、こと
し入ってからも十勝沖地震、
九州・四国地方、京都府下の和
知地震と相次いでいるが、大き
な火災が発生せず被害を最小限
に止めている。地震の被害を大
きくするものは、火災が発生して
大火災になることです。地震が
起きたら、まず火の始末を行な

寝たばこ用心

やれやれ戸じまりも
悪いが寝たばこは
なお怖ろしい



うごかかしてやれず。
十勝沖地震では、プロパンガス
音頭の転倒によるガスの噴出が
多くあったので、常に転倒防止
の措置をとっておく。

町の人口 (11月1日現在)

男	15,341人	森 本	3,366人
女	15,299人	鶏冠井	3,173人
計	30,640人	西向日	1,285人
世帯数	8,742	上植野	2,691人
◆		向日	1,311人
物業女	1,913人	向日台	1,669人
寺 戸	15,232人		